

ウインリバティの18

栗 東
入厩予定

全400口 1口75,000円(総額:3,000万円)

父 エピファネイア
牡 栗毛 2018年4月29日生まれ コスモヴェューファーム



母の父

ダンスインザダーク

千歳産、最優秀3歳牡馬、5勝、菊花賞-JPN1(3000m)、弥生賞-JPN2(2000m)、京都新聞杯-JPN2(2200m)。主な産駒 デルタブルース(VRCメルボルンC-G1)、菊花賞-JPN1)、ツルマルボーイ(安田記念-G1)。母の父としてラプリーデー(天皇賞・秋-G1、宝塚記念-G1)、メイショウカンバク(京都大賞典-G2)、アルバート(ステイヤーズS-G2 3回)、トリオンフ(小倉大賞典-G3)、キョウヘイ(シンザン記念-G3)を出す

母系

母ウインリバティ(11 ダンスインザダーク) 5勝, ムーンライトH(芝2000m), 西海賞(芝2000m), 都井岬特別(芝2000m), チューリップ賞-G3 5着。本馬が初仔
 祖母 *フリーヴァケーション Free Vacation(96 Fly So Free)加国産, 加芝牝馬チャンピオン, 北米7勝, Breeders' S, Flaming Page H-L(2回), Wonder Where S, ナタルマS-CAN1 2着, スカイクラシックH-G2 2着, Robert G. Dick Memorial Breeders' Cup S-L 2着, 加プリンセスエリザベスS-CAN1 3着, Canadian Oaks 3着, April Run S 3着, ロングアイランドH-G2 4着, グレンズフォールズH-G3 4着。産駒
 シャルルヴォア(牝 スペシャルウィーク) 3勝, 三田特別。産駒
 ナンヨーイザヨイ(牡 エイシンフラッシュ) 2勝, ⑩
 ナンヨーアーミー(牡 キングカメハメハ) 1勝, 高知公1勝, ⑩
 シェルブルック(牡 *タートルボウル) 1勝
 モレーンレイク(牝 フサイチコンコルド) 1勝
 ウインリベロ(牡 ステイゴールド) 東海公3勝, 中央入着, ⑩
 ソーテルヌ(牝 アグネスタキオン) 入着, 南関東公2勝
 メメキューティー(牝 ゴールドアリュール) 入着, 兵庫公1勝
 ウインラヴィベル(牝 ステイゴールド) 佐賀公2勝, ⑩
 ケーヤ(牡 ハーツクライ) 佐賀公1勝
 曾祖母 **マイアミ ヴァケーション** Miami Vacation(88 Far North) 北米3勝, Foster City Mile S-L。産駒
イグジット トウリオ Exit to Rio:英・北米7勝, Hasta La Vista H, Wildcat H 3着
シーサイドリンクス Seaside Links:北米15勝, Cup and Saucer S2 着
 *アブサラ:2勝, 雲雀ヶ原特別, 新潟⑩1勝
 ニーダムズポイント Needham's Point:北米8勝
 四代母 **ディシジョン** Decision(80 Resound) 北米4勝, パッカー アップ S-G3, Lyrique S, Fairmount Juvenile S, Pocahontas S 2着, アシュランド S-G2 3着。産駒
マイアミ ダンサー Miami Dancer:北米2勝, John Peri S 3着

エピファネイア
鹿毛 2010年

ウインリバティの18
牡 栗毛 2018.4.29

ウインリバティ
黒鹿毛 2011年

*シンボリクリスエス Symboli Kris S(USA) 黒鹿毛 1999年	クリス エス Kris S.	Roberto Sharp Queen
シーザリオ 青毛 2002年	ティー ケイ Tee Kay	Gold Meridian Tri Argo
	スペシャルウィーク	サンデーサイレンス キャンペンガール
	*キロフプリミエール Kirov Premiere	Sadler's Wells Querida
ダンスインザダーク 鹿毛 1993年	* サンデーサイレンス Sunday Silence	Halo Wishing Well
	*ダンシングキー Dancing Key	Nijinsky Key Partner
*フリーヴァケーション Free Vacation(CAN) 栗毛 1996年	フライ ソー フリー Fly So Free	Time for a Change Free to Fly
	マイアミ ヴァケーション Miami Vacation	Far North Decision

*サンデーサイレンス 3D×4S, Hail to Reason 5S×5D, Northern Dancer 5S×5D×5D

CHECK POINT

- 父エピファネイアは菊花賞を勝ち、ジャパンカップでは4馬身差で圧勝しました。私自身、好きな馬でしたし、産駒にも期待していました。しかし、日高での生産馬からはそれほど良い印象を受けなかったのが大丈夫かな？と思っていましたが、本馬は良い馬です。見るたびに良い馬になっていきますね。少し脚が短めなのは母の影響だと思いますが、踏み込みが強く筋力の強さを感じられるのは、やはり父からの遺伝でしょう。安くしようと思っていましたが、やっぱり良い馬なので安くできません。すみません！

